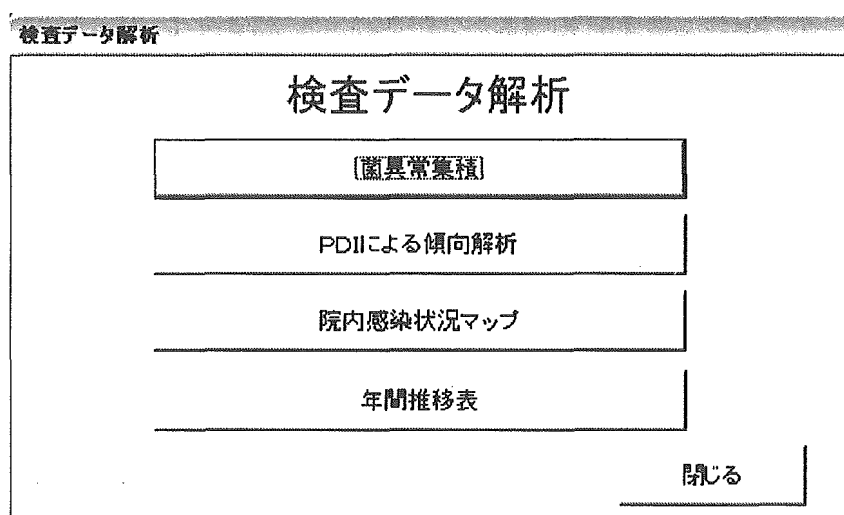


- ③ 日計表欄には、別途登録した病棟ごとに患者数、入院患者数、退院患者数、転入患者数、転出患者数、および発熱患者数、下痢患者数、発疹患者数とその各院内合計が表示されます。
- ④ 「グラフ」ボタンを押下すると、過去2週間の入院患者数、発熱患者数、下痢患者数、発疹患者数の推移を病棟ごとにグラフ描画します。また、グラフ表示内の「印刷」ボタンを押下すると、「通常使うプリンタに設定」しているプリンタに印刷出力します。
- ⑤ 「CSV入力」ボタンを押下すると、別紙日計表ファイルフォーマットのデータファイルの内容を取り込むことができます。
- ⑥ 「CSV出力」ボタンを押下すると、別紙日計表ファイルフォーマットに従って、入力済みのデータ内容をCSVファイルに書き出すことができます。
- ⑦ 「帳票フォーム」ボタンを押下すると、上記画面に表示した内容を日計表として印刷するためのプレビューが表示され、「印刷」ボタンを押下すると「通常使うプリンタに設定」しているプリンタに印刷出力します。
- ⑧ 「登録」ボタンを押下すると、「変更内容を登録しますがよろしいですか」の確認画面が表示され、「OK」、「キャンセル」ボタンによりそれぞれ登録、または取り消されます。
- ⑨ 「閉じる」ボタンを押下すると、「変更内容を無効にしますがよろしいですか」の確認画面が表示され、「OK」、「キャンセル」ボタンによりそれぞれ変更内容を無効にして画面を閉じる、または取り消されます。

III. 検査データ解析画面



- ① 「菌異常集積」ボタンを押下すると、菌異常集積画面が表示されます。
- ② 「PDIによる傾向解析」ボタンを押下すると、PDI選択メニュー画面が表示されます。
- ③ 「院内感染状況マップ」ボタンを押下すると、感染状況マップ画面が表示されます。
- ④ 「年間推移表」ボタンを押下すると、年間推移表画面が表示されます。
- ⑤ 「閉じる」ボタンを押下すると、この画面を閉じます。

IV. 菌異常集積画面

菌異常集積

BLR名称	集積単位	集計単位	病棟	解析日	期間	菌	菌名	BLR	試行	発生	確率	LEVEL
Default	患者単位	7日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	1114	Streptococcus agalactiae	0.00769	3	2.00001766971		LEVEL3
Default	患者単位	7日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	1301	Staphylococcus aureus	0.03000	3	2.00026460000		LEVEL2
Default	患者単位	7日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	5200	Bifidobacterium sp.	0.00013	3	1.00003940492		LEVEL3
Default	患者単位	7日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/27~2005/07/03	5660	Fusobacterium sp.	0.00062	3	1.00018977600		LEVEL2
Default	患者単位	14日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	1114	Streptococcus agalactiae	0.00769	6	2.00008899760		LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	1301	Staphylococcus aureus	0.03000	6	3.00003044175		LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	1312	Staphylococcus epidermidis	0.03000	6	3.000053044175		LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	6200	Bifidobacterium sp.	0.00013	6	2.00000002688		LEVEL3
Default	患者単位	14日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/20~2005/07/03	5650	Fusobacterium sp.	0.00062	6	2.00000067495		LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	1114	Streptococcus agalactiae	0.00769	17	4.00000076994		LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	1301	Staphylococcus aureus	0.03000	17	7.00000006262		LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	2100	Senatia sp.	0.09004	17	1.00006378745		LEVEL3
Default	患者単位	30日間	病棟全体	2005/07/10	2005/06/04~2005/07/03	5052	Clostridium perfringens	0.00002	17	1.00003109860		LEVEL3

検索条件

患者単位
 検体単位
 JANIS
※ JANIS 菌種 30日間の同一患者はすべてデータとして扱う

集計単位
 7日間
 14日間
 30日間

LEVEL
 LEVEL1
 LEVEL2
 LEVEL3

病棟

Base Line Rate
 DEFAULT

ノート順

- ① 一覧には、自動集計日次処理または本画面内の「手動集計」ボタン押下による随時処理で集計された内容から、BLR 名称、集積単位、集計単位、病棟、解析日、期間、菌(菌コード)、菌名、BLR(BaseLineRate)、試行(患者単位:総患者数、検体単位:総検体数、JANIS:JANIS準拠による重複排除処理を行った総患者・検査材料数)、発生(患者単位:菌陽性患者数、検体単位:菌陽性検体数、JANIS:JANIS 準拠による重複排除処理を行った菌陽性患者・検査材料数)、確率、LEVEL が表示されます。
- ② 検索条件として「集計単位」「集積単位」「LEVEL」「病棟」「BaseLineRate」からそれぞれ選択し、一覧に表示する対象の開始日、終了日、その期間の対象を「解析日」「集計開始日」「集計終了日」「集計期間内」から選択、設定する事ができます。ソート順を指定した後「検索」ボタンをクリックする事で、該当するデータを一覧に表示することができます。
- ③ 「CSV出力」ボタンを押下すると、一覧に表示している内容を CSV ファイルとして出力することができます。
- ④ 「集積計算」ボタンを押下すると、「菌異常集積 集計画面」が表示されます。
- ⑤ 「Option 設定」ボタンを押下すると、「集計オプション画面」が表示されます。
- ⑥ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

※病棟及び BaseLineRate の選択方法

検索条件の「病棟」「BaseLineRate」は、ドロップダウンリスト内より複数選択可能です。
 何も選択されていない場合、選択対象はそれぞれ全ての病棟、全ての BaseLineRate となります。
 ドロップダウンリストより選択を行うと、それぞれリストに登録されます。
 リストに登録されている病棟(あるいは BaseLineRate)が、検索条件となります。
 「クリア」ボタンを押下することで、検索条件を消去できます。またはリストをクリックする事で、対象を削除することができます。

※ソート順の設定方法

病棟、BaseLineRate と同様に、ドロップダウンリスト内より出力項目を選択します。リストの上位が検索条件の上位となり、それぞれを昇順でソートします。また、出力項目のラベルをクリックすることで、ボタンがくぼみ状態となります。くぼみ状態の項目に関しましては、ソートが降順となります。

V. 集計オプション画面

① 警告レベルの設定

「警告レベル1」から「警告レベル3」までに数値を入力することにより、一覧表示での LEVEL1 から LEVEL3 での集計、表示となります。各値は初期値として、0.01、0.005、0.001 となっています。各値を変更し、「LEVEL 設定」押下により、全データに反映されます。

② BaseLineRate の作成

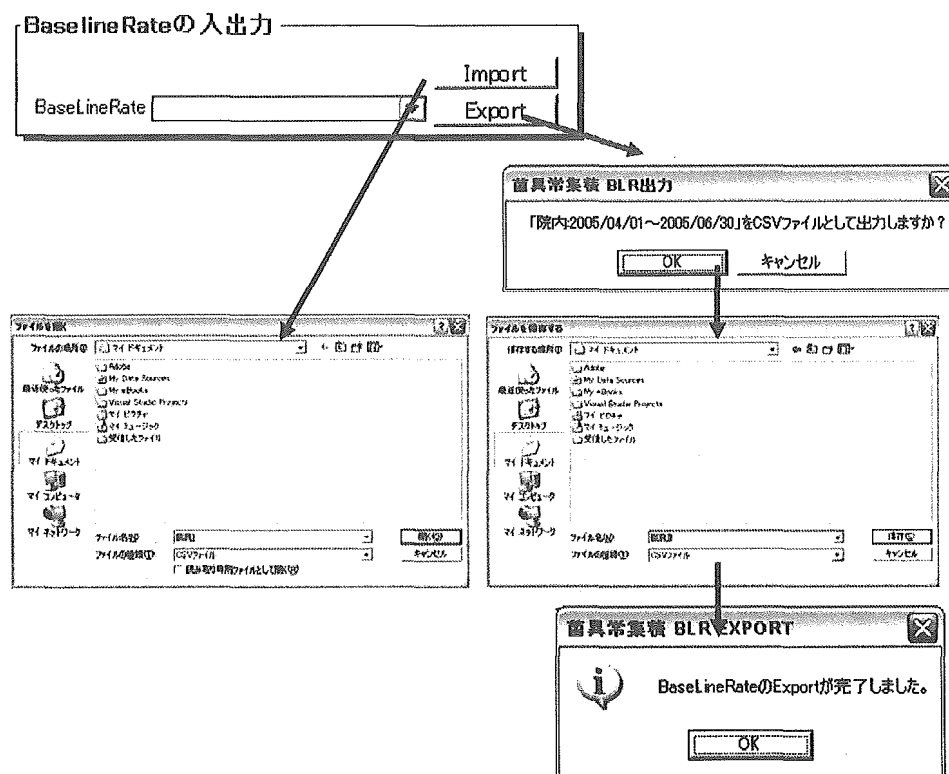
本システム内部に保存されたデータより BaseLineRate を作成します。開始日、終了日にはそれぞれ「検体提出日」の最小、最大の日付が設定されています。それぞれ任意の日付を設定し、「BLR 名称」「備考」を入力した上で「作成」ボタンを押下します。

③ BaseLineRate の入出力

BaseLineRate の Import、Export を行います。

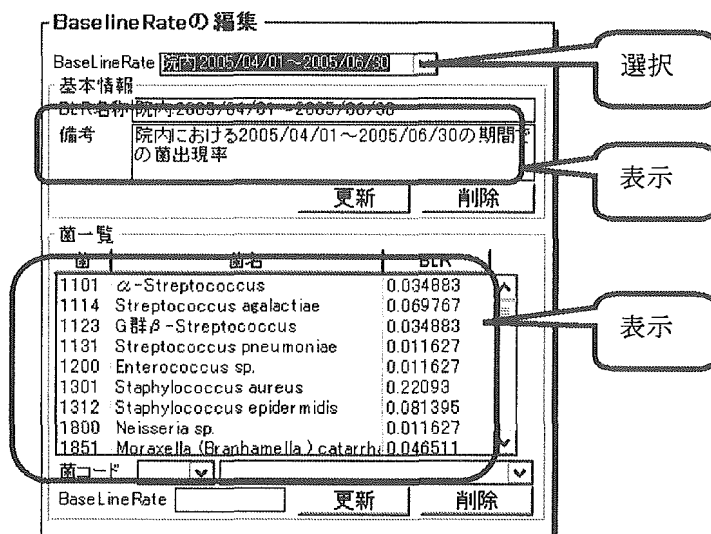
「Import」ボタンを押下すると、「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、該当ファイルを選択して「開く(O)」ボタンを押下します。ファイルの情報をチェックし、エラーがある場合はエラーを表示、エラーのない場合は新しい「BaseLineRate」として登録されます。登録されたBaseLineRateは、次回集計時より菌異常集積での集計対象となります。過去のデータに関しましては集計対象となりません。「菌異常集積 再集計画面」より、該当のBaseLineRateの再集計を行う必要があります。

「Export」の場合は、該当する「BaseLineRate」を選択し、「Export」ボタンを押下します。ファイル出力のメッセージが表示されますので「OK」を押下すると「ファイルを保存する」ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を設定し、「保存(S)」を押下してください。メッセージが表示され、ファイルが保存されます。



④ BaseLineRate の編集

現在登録されているBaseLineRateの編集を行います。登録済みのBaseLineRateを選択することで、その内容が表示されます。※Import あるいは作成を行った BaseLineRate のみ編集を行うことができます。



基本情報の「BLR 名称」「備考」を修正し、直下の「更新」ボタンを押下することで、基本情報の更新を行うことができます。BaseLineRate が選択された状態で「削除」ボタンをクリックすると、該当の BaseLineRate に関する情報が全て削除されます。すでに集計済みの結果についても同様に削除されますのでご注意ください。

菌一覧より菌を選択することで、菌コードと BaseLineRate が表示されます。BaseLineRate を修正し、画面下部の「更新」ボタンを押下することで、該当の菌コードに関する BaseLineRate が更新されます。また、設定した菌コードの登録がない場合、新規で該当の菌コードに対する BaseLineRate の登録を行うことができます。また、菌コードが選択された状態で「削除」ボタンをクリックすると、該当の菌コードが削除されます。

VI. 菌異常集積 集計画面

菌異常集積 集計日指定

集計期間を指定 設定

集計日数: 0

対象日削除

集計日を指定 集計済み
 未集計
 集計対象日

2005 10

月	火	水	木	金	土	日
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

BaseLineRate

菌集積 集計

確率 集計

閉じる

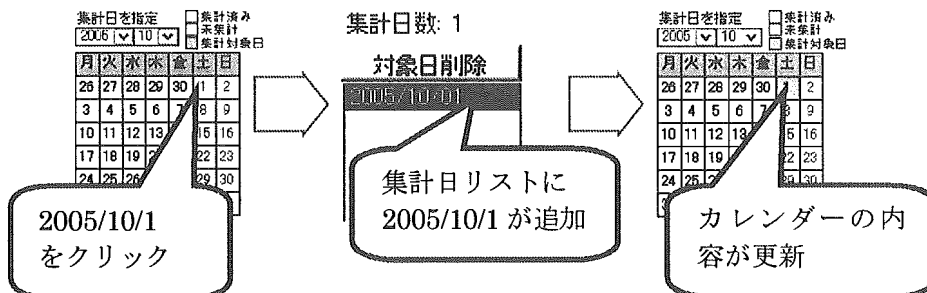
① カレンダー機能 集計日の追加

指定の月と、その月における集計状況を表示します。集計日を指定の項目で、年、月を指定します。年に関しまして、検体データが入力されている範囲で選択可能です。「集計済み」「未集計」「現在集計対象」として選択されている「集計対象日」がそれぞれ色分けで表示されます。

集計日を指定 集計済み
 未集計
 集計対象日

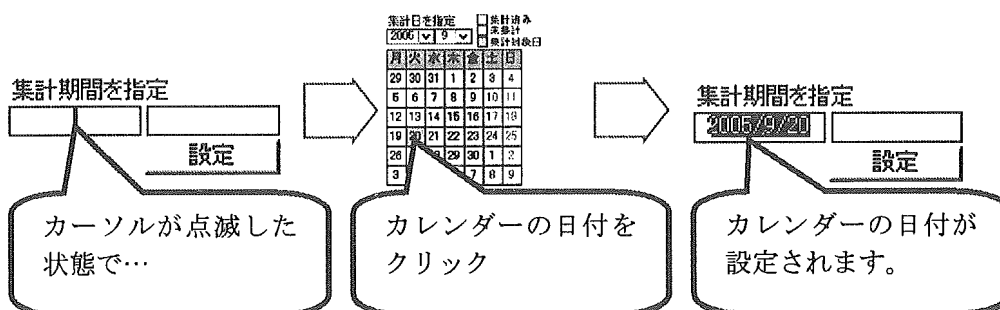
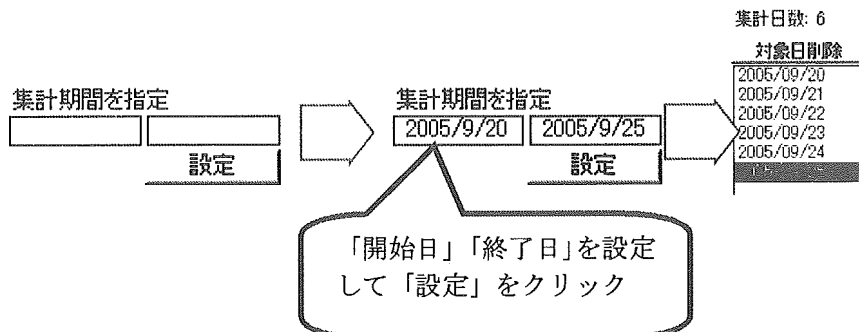
2005 10

「年」「月」をドロップダウンより選択すると、該当の年月へカレンダーの表示が変更されます。集計対象の日付をクリックすることで、日付が集計日リストへ登録されます。



② カレンダー機能 集計日の範囲指定

「集計期間を指定」の項目へそれぞれ「開始日」「終了日」を指定して「設定」ボタンをクリックする事で、対象の期間が「集計日リスト」へ設定されます。設定の際、事前に登録されていた日付は削除されますのでご注意ください。また、期間を設定した後であれば、個別の日付をカレンダーから追加することは可能です。「開始日」「終了日」の設定は、それぞれが入力可能な状態でカレンダーの日付を指定すると、該当の日付がセットされます。

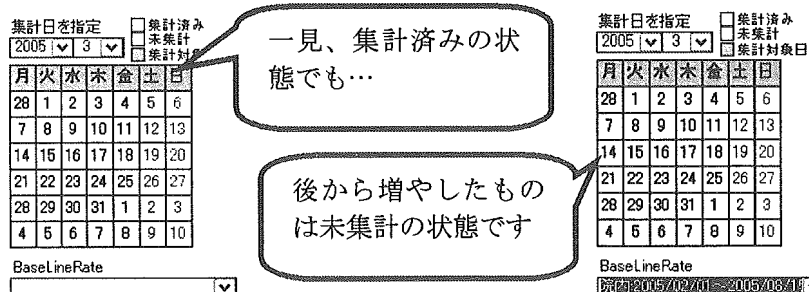


③ 集計日の削除

集計日リストに登録された日付を削除します。該当の1日を削除する場合、リストより該当日をダブルクリックします。また、全ての日付を消去する場合は、リスト上部の「対象日削除」ボタンをクリックします。

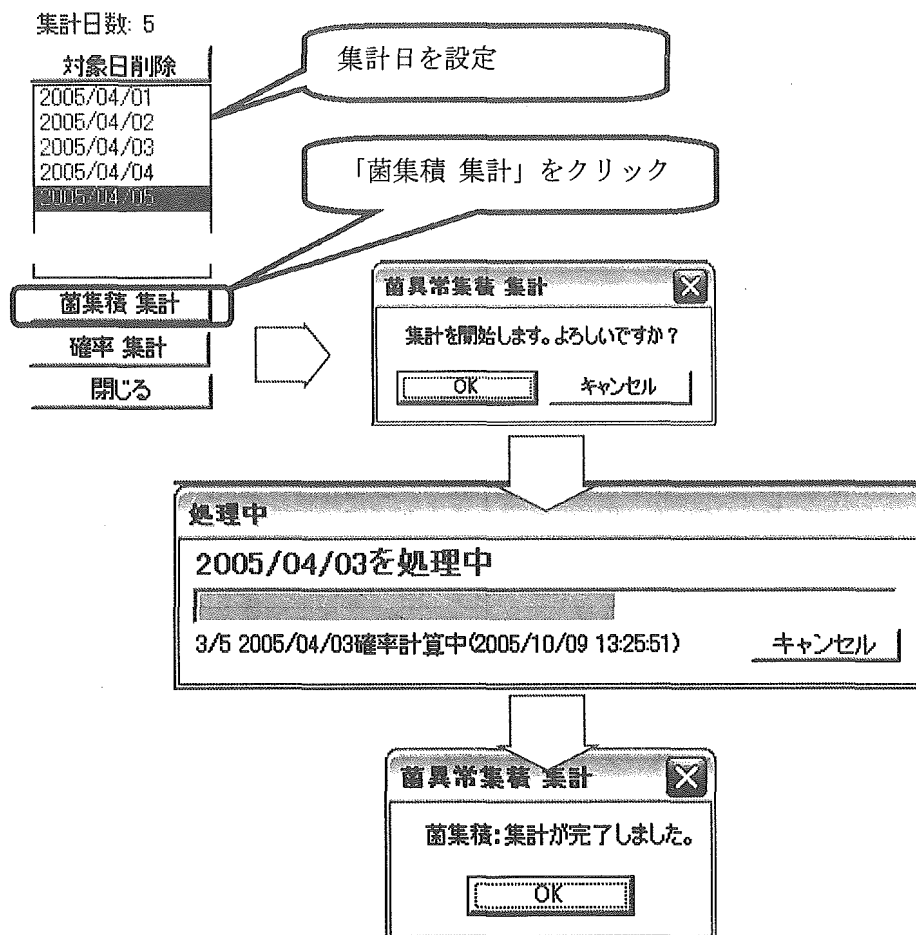
④ カレンダー機能 BaseLineRate の集計状況確認

菌異常集積の計算は、登録された全ての BaseLineRate について計算を行いますが、BaseLineRate の作成や追加により新たに登録された BaseLineRate については、過去の集計が未完の状態です。画面下部の「BaseLineRate」から、登録されている BaseLineRate 名を選択すると、カレンダーの表示が、その BaseLineRate の計算についての状態に変更されます。



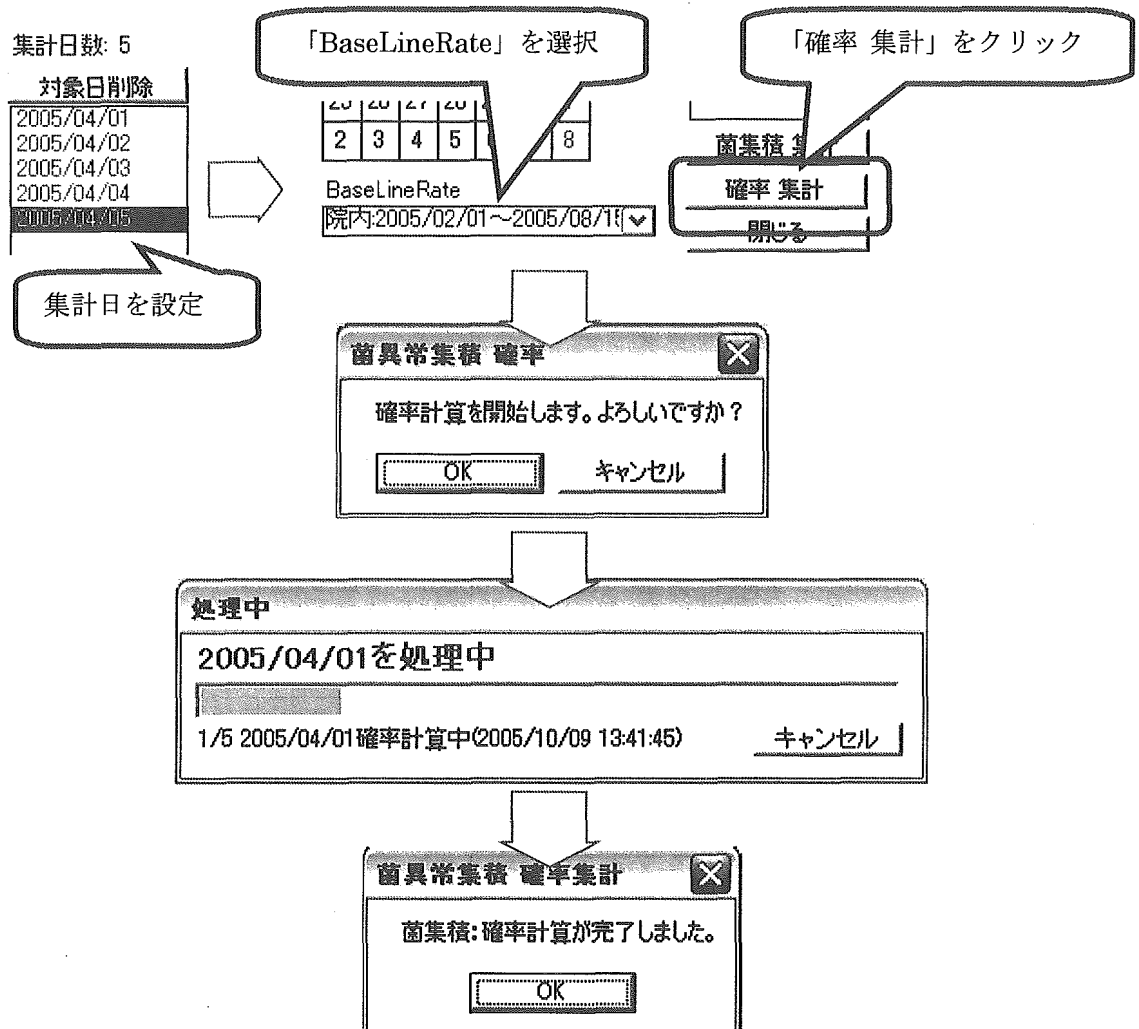
⑤ 集計(全集計)

菌異常集積の集計を行います。BaseLineRate 毎の集計もできますが、通常はこちらの集計を行います。対象の日付を選択し、「菌集積 集計」ボタンをクリックすると、確認のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、集計処理を開始します。集計中は「処理中」のダイアログが表示されます。プログレスバーが右端まで来ると処理が終了です。処理状況の目安となります。また、ダイアログ下部には現在の処理を表示しています。左端には現在の件数(処理件数/全件数)と処理中の日付が表示され、一日分の処理は、「集積計算」→「確率計算」→「レベル設定」→「終了(次の日の処理へ)」となります。また、本日分の処理は集積計算を行うことができません。



⑥ 集計(該当 BaseLineRate の確率のみ計算)

BaseLineRate を作成した場合や、Import、あるいは修正などを行った場合、その結果は集計には反映されていません。該当の BaseLineRate の確率計算を行う必要があります。全集計と異なり、該当の BaseLineRate の計算のみ行いますので、全集計より処理時間が短くすみます。全集計と同様に、まず集計を行う日付を指定します。次に、BaseLineRate の選択を行い「確率 集計」ボタンをクリックします。以降は全集計と同様となります。

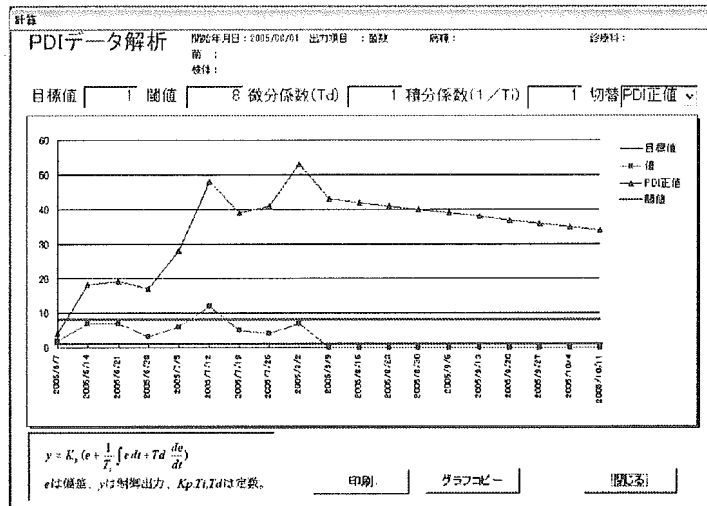


VII. PDI選択メニュー画面

PDIによる傾向解析	
PDI解析	
集計開始日の指定	集計単位の指定
開始日 <input type="text" value="2004/10/05"/>	<input type="radio"/> 1週間 <input type="radio"/> 2週間 <input type="radio"/> 1ヶ月
条件の指定 <small>【菌名】【検査材料】はダブルクリックすることで、複数個の選択指定ができます。(指定しない場合は、全件出力されます。)</small>	
病棟 <input type="text"/>	<input type="text"/>
診療科 <input type="text"/>	<input type="text"/>
菌名	検査材料
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<small>ここをダブルクリックして下さい</small>	
出力項目の指定 <input type="text" value="菌数"/>	
<input type="button" value="計算開始"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

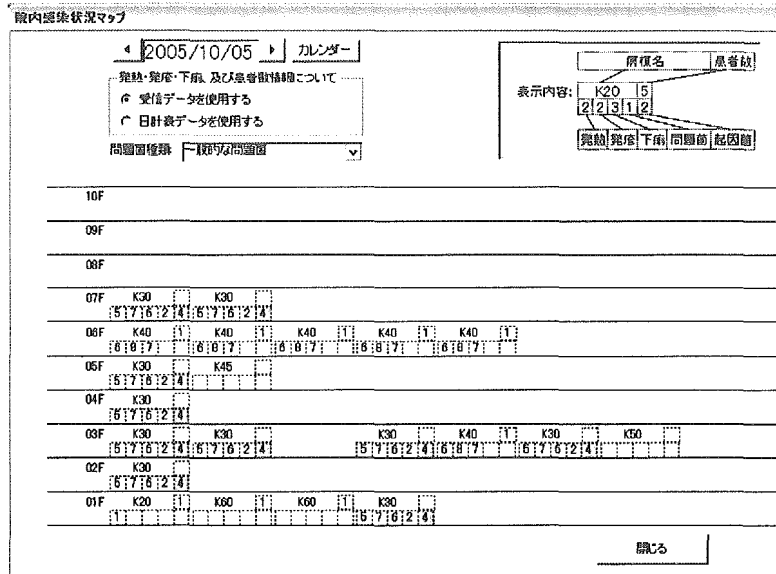
- ① 「開始日」欄には、本 PDI 解析の集計開始日をカレンダー画面から選択入力します。
- ② 「集計単位の指定」欄では、「開始日」から起算した集計の期間を「1週間」、「2週間」、「1ヶ月」から選択します。
- ③ 「条件の指定」欄では、「病棟」、「診療科」、「菌名」、「検査材料」から当該集計での対象とする菌や検査材料を選択します。
- ④ 「出力項目の指定」欄では、「菌数」、「陽性患者数」、「発熱」、「発疹」、「下痢」から集計の対象を選択します。
- ⑤ 「計算開始」ボタンを押下すると、上記により選択、指定された内容で集計処理を行い、PDI データ解析画面が表示されます。
- ⑥ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

VIII. PDIデータ解析画面



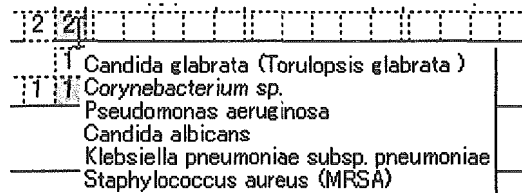
- ① 「目標値」、「閾値」、「微分係数」、「積分係数」欄に相当する基準値を入力し、「切替」欄で「PDI 正値」、「PDI」、「偏差」、「微分」、「積分」から選択することにより、PDI データ解析図が描画されます。
- ② 「印刷」ボタンを押下すると、印刷ダイアログが表示され、画面を印刷することができます。
- ③ 「グラフコピー」ボタンを押下すると、表示されたグラフオブジェクトをクリップボードへコピーします。
- ④ 「戻る」ボタンを押下すると、本画面を閉じて PDI 選択メニュー画面に戻ります。

IX. 感染状況マップ画面

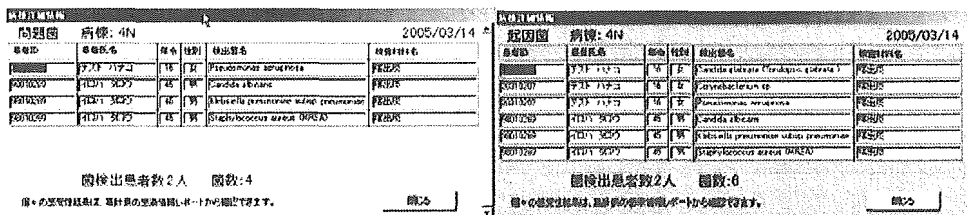


本画面では、日計表入力画面での患者数、発熱/発疹/下痢の患者数や、検査結果データからの検体提出患者数、発熱/発疹/下痢の患者数や問題菌、起因菌の検体数を、別途設定した院内病棟情報による病棟別に表示します。

- ① 左上の日付表示欄では、左右のボタンにより前日、翌日に変更でき、その操作に応じて画面内の各表示が更新されます。
「カレンダー」ボタンを押下することにより、表示されたカレンダー画面からの選択入力もできます。
- ② 「発熱・発疹・下痢、及び患者数情報について」を切り替えることにより、患者数(検体提出患者数)/発熱/発疹/下痢の内容を、受信データと日計表データで切り替えることができます。
- ③ 「問題菌」「起因菌」表示欄へマウスカーソルを重ねしばらく時間が経つと、該当の菌名が表示されます。各欄に表示される数値は患者数に対し、表示される菌名は、検出された全ての問題菌、起因菌となります。

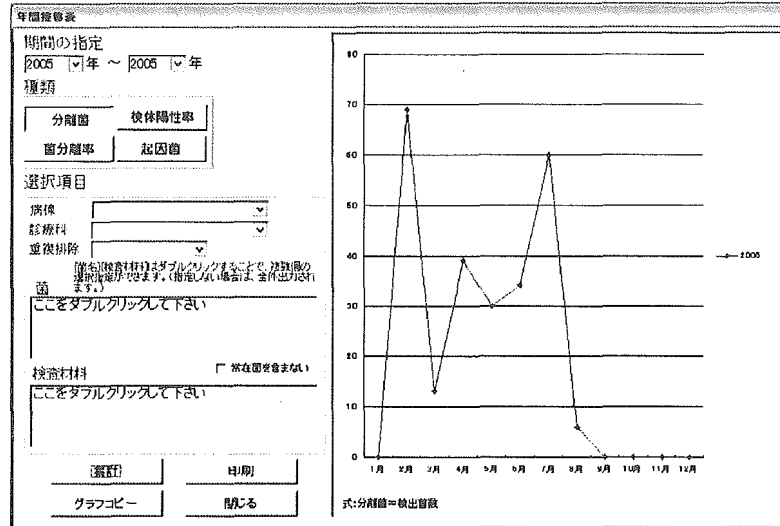


- ④ さらに、「問題菌」「起因菌」欄をクリックすることで、該当の患者情報を表示することができます。



- ⑤ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

X. 年間推移表画面



- ① 「期間の指定」欄では、本推移表の集計期間を入力します。
- ② 「種類」欄では、「分離菌」、「菌分離率」、「検体陽性率」、「起因菌」から選択します。
 - ・ 分離菌指定: 選択項目の菌、検査材料を選択してください。
 - ・ 菌分離率指定: 陽性検査材料、総検査材料、総分離菌数から選択の後、選択項目の菌、検査材料を選択してください。
 - ・ 検体陽性率指定: 患者単位、検体単位、JANIS 単位から選択の後、選択項目の菌、検査材料を選択してください。
 - ・ 起因菌: 選択項目の症状、検査材料を選択してください。
- ③ 「集計」ボタンを押下すると、指定された内容により集計を行い右欄に描画します。
- ④ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じて検査データ解析画面に戻ります。

XI. 集計表メニュー画面

- ① 集計表出力のための条件絞込み欄では、以下の内容を選択/入力します。
 - ・ 対象期間指定:集計対象の期間を選択/入力してください。
 期間右のボタンをクリックすると、以下のように期間が設定されます。
 去年:昨年 1 月～昨年 12 月(1 年間)
 今年:本年 1 月～本年 12 月(1 年間)
 先月:本年先月～本年先月(1 ヶ月)
 今月:本年今月～本年今月(1 ヶ月)
 - ・ 性別:「指定なし」、「男」、「女」から選択します。
 - ・ 入院外来:「指定なし」、「入院」、「外来」から選択します。
 - ・ 病棟:検査結果データとして報告された病棟が表示され、そこから選択します。
 - ・ 診療科:検査結果データとして報告された診療科が表示され、そこから選択します。
 - ・ 検体:リストをダブルクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。
 - ・ 菌名:リストをダブルクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。
 - ・ 薬剤:リストをダブルクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。
 - ・ 感受性:「指定なし」、「S」、「I」、「R」から選択します。
 - ・ 起因菌:「発熱」、「発疹」、「下痢」から選択します。(複数選択可能)
 - ・ 重複排除:「重複排除しない」、「重複排除する」から選択します。(ここでの重複排除とは、30 日以内での同一患者 ID、同一検体を一つとして扱うか、個々にカウントするかを指す)
- ② 「年齢別分離菌の列表示設定」欄では、レポート指定で「年齢別分離菌」を選択した場合の、表示する年齢階層の指定を行います。「変更」ボタンを押下すると、指定内容の変更が可能です。
- ③ 「レポート指定」欄では、出力する集計表を「病棟別菌検出状況」、「年齢別分離菌」、「診療科別分離菌」、「検体別分離菌」、「菌種別感受性分布」、「菌種別 MIC 分布」、「感染情報レポート」から選択します。
 - iv) 「CSV」ボタンを押下すると、レポート指定欄で選択した集計表の内容を CSV ファイルに出力します。
 - v) 「プレビュー」ボタンを押下すると、レポート指定欄で選択した集計表の内容をプレビュー表示します。
 - vi) 「印刷」ボタンを押下すると、レポート指定欄で選択した集計表を、「通常使うプリンタに設定」されたプリンタに印刷します。
 - vii) 「閉じる」ボタンを押下すると本画面を閉じます。

XII. 検査データ修正画面

検索画面

検索条件

ID	<input type="text"/>	生年月日	<input type="text"/>	検索	変更
検体番号	<input type="text"/>	カナ氏名	<input type="text"/>	全件表示	削除
検査材料	<input type="text"/>	検体提出日	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	全条件クリア	リスト内全削除
薬剤名	<input type="text"/>	診療科	<input type="text"/>	病棟	<input type="text"/>
				新規登録	閉じる

送信者識別	検査内識別	検体番号	ID	カルテ番号	カナ氏名	検体提出日	検体
▶	0002	12347	8821828037	123456	任例法テスト		
	99999	0002	1245466	6914666661		2004/12/22	
	04002	200411260100002		ICU-142083	B-ゴトウ タクオ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100003		253-49233	5-サトマ チュウイ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100004		ICU-141832	B-ナカヤマ カンヤ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100005		ICU-140804	A-イトウ ミツコ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100049		A外-72023	A-モイスミ ユキコ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100050		240-141926	A-カノウ アイコ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100702		264-141897	B-サクライ アキオ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100703		ICU-142083	B-ゴトウ タクオ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100704		456-40384	B-ヨシダ トモエ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100705		456-40384	B-ヨシダ トモエ	2004/11/26	修正
	04002	200411260100706		238-112880	A-ウラマツ ユシタ	2004/11/26	修正
	11001	200411260100003	4444455556666666	ICU-142083	B-ゴトウ タクオ	2004/11/27	修正
	11001	200411260100004	7777788889999999	ICU-141832	B-ナカヤマ カンヤ	2004/12/12	修正
	11001	200411260100001	1111122223333333	307-130609	A-ムジヤ テカコ	2004/11/27	修正
	00001	00001	00001	00001	00001	00001	00001

40件

- ① 「検索条件」欄に、検査データ修正のための対象絞り込み条件を入力します。
 - i) 「ID」:患者 IDを入力します。ここで入力した文字列を含む(任意一致)ID が対象となります。
 - ii) 「生年月日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
 - iii) 「検体番号」:検体番号を入力します。ここで入力した文字列を含む(任意一致)検体番号が対象となります。
 - iv) 「カナ氏名」:カナ氏名を入力します。ここで入力した文字列を含む(任意一致)カナ氏名が対象となります。
 - v) 「検査材料」:検査結果データとして報告された検体が表示され、そこから選択します。
 - vi) 「検体提出日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により、対象期間を入力します。
 - vii) 「薬剤名」:検査結果データとして報告された薬剤が表示され、そこから選択します。
 - viii) 「診療科」:検査結果データとして報告された診療科が表示され、そこから選択します。
 - ix) 「病棟」:検査結果データとして報告された病棟が表示され、そこから選択します。
- ② 「検索」ボタンを押下すると、検索条件欄で指定した内容で検索を行い該当データが表示されます。
- ③ 「全件表示」ボタンを押下すると、検索条件欄で指定した内容に関係なく DB 内のすべてのデータが表示され、各検索条件欄はクリアされます。
- ④ 「全条件クリア」ボタンを押下すると、各検索条件欄がクリアされます。

- ⑤ 「新規登録」ボタンを押下すると下の画面が表示され、当該検体番号を入力後「登録」ボタンを押下し、続いて「OK」を選択すると次ページの詳細入力画面が表示されます。

基本情報の入力

検体番号

登録 | 閉じる

確認 ✕

? 新規登録しますか

OK | キャンセル

- ⑥ 「変更」ボタンを押下すると、一覧で選択されたデータについて次ページの詳細入力画面が表示され、修正が可能となります。
- ⑦ 「削除」ボタンを押下すると、一覧で選択されたデータが削除されます。(メンテナンスの削除データ復元機能により復元することが可能)
- ⑧ 「リスト内全削除」ボタンを押下すると、一覧に表示されたすべてのデータが削除されます。(メンテナンスの削除データ復元機能により復元することが可能)
- ⑨ 「閉じる」ボタンを押下すると、本画面を閉じます。
- ⑩ 各一覧表示のタイトル部をクリックすると、その都度当該項目における昇順、降順に並び替えます。
※「新規登録」ボタンによりデータを新規追加すると、送信者識別番号には「99999」、検査所識別番号には半角スペースに続けて当該施設コードが自動的にセットされます。

XIII. 詳細入力画面(患者基本データ)

検査データ入力

検体番号 123456

ID _____ カルテ番号 _____

氏名 _____ 性別 _____ 生年月日 _____

入院日 _____ 退院日 _____ 検体提出日 _____

検査材料名 _____ 診療科 _____ 入院外来 _____ 病棟 _____

検体データ	菌データ	退院サマリデータ	予備情報拡張	検査項目
患者基本データ	感染症データ	抗菌薬データ	基礎疾患に関するデータ	デバイスデータ

ID _____

カルテ番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

性別 _____

入院外来 _____

入院日 _____

施設診療科 _____ JANIS分類による診療科 _____

病棟 _____

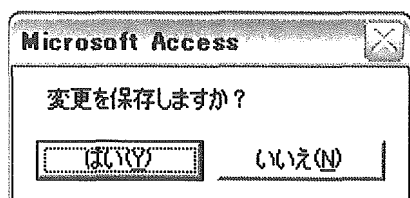
病室 _____

病床 _____

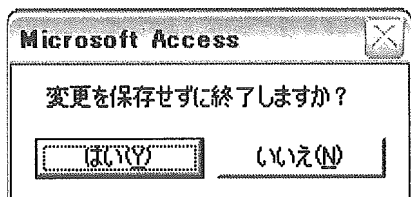
検査の目的 _____

登録 閉じる

- ・「ID」:患者 ID を入力します。
- ・「カルテ番号」:カルテ番号を入力します。
- ・「氏名」:患者氏名を入力します。
- ・「生年月日」:生年月日を YYYYMMDD または YYYY/MM/DD の形式で入力します。
- ・「性別」:「女」、「男」、「その他・不明」から選択します。
- ・「入院外来」:「外来」、「入院」、「不明」から選択します。
- ・「入院日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・「施設診療科」:プルダウンされる設定済みリストから選択すると、それに対応する JANIS での診療科名称が表示されます。
- ・「病棟」:プルダウンされる設定済みリストから選択します。
- ・「病室」:病室番号を入力します。
- ・「病床」:ベッド番号を入力します。
- ・「検査の目的」:「モニタリング」、「新規感染症」、「フォローアップ」、「その他」、「不明」から選択します。
- ・「登録」ボタンを押下すると、下の画面が表示され、「はい(Y)」を選択すると本画面内での修正内容で更新されて本画面および下の画面を閉じ、「いいえ(N)」を選択すると下の画面を閉じます。(他のタグでも同様)



- ・「閉じる」ボタンを押下すると、下の画面が表示され、「はい(Y)」を選択すると本画面内での修正内容は破棄され本画面および下の画面を閉じ、「いいえ(N)」を選択すると下の画面を閉じます。(他のタグでも同様)



XIV. 詳細入力画面(感染症データ)

前院情報の入力

検体番号 T23456

ID _____ カルテ番号 _____

氏名 _____ 性別 _____ 生年月日 _____

入院日 _____ 退院日 _____ 検体提出日 _____

検査材料名 _____ 診療科 _____ 入院外来 _____ 病棟 _____

検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備領域拡張 | 検査項目
 患者基本データ | 感染症データ | 抗生薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ

感染症名 _____

感染症ICD10 _____

体温 _____

体温検査日 _____

白血球数 _____

白血球数検査日 _____

CRP定量 _____

CRP定量検査日 _____

CRP定性 _____

CRP定性検査日 _____

発熱 _____

下痢 _____

発疹 _____

登録 | 閉じる

- ・「感染症名」:表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・「感染症 ICD10」:表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・「体温」:体温を入力します。
- ・「体温検査日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・「白血球数」:白血球数を入力します。
- ・「白血球数検査日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・「CRP 定量」:CRP 定量値を入力します。
- ・「CRP 定量検査日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・「CRP 定性」:CRP 定性をプルダウンから選択します。
- ・「CRP 定性検査日」:表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入力します。
- ・「発熱」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「発疹」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「下痢」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。

XV. 詳細入力画面(抗菌薬データ)

病歴情報の入力

検体番号 123456

ID _____ カルテ番号 _____

氏名 _____ 性別 _____ 生年月日 _____

入院日 _____ 退院日 _____ 検体提出日 _____

検査材料名 _____ 診療科 _____ 入院外来 _____ 病棟 _____

検体データ
 患者基本データ
 菌データ
 感染症データ
 退院サマリデータ
 抗菌薬データ
 予備情報拡張
 基礎疾患に関するデータ
 検査項目
 デバイスデータ

検体採取時の抗菌薬投与 抗菌薬投与の有無

番号	抗菌薬名	投与量	単位	日数	投与方法	投与開始日	投与終了日
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

登録 開じる

- ・「検体採取時の抗菌薬投与」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「抗菌薬投与の有無」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・ 抗菌薬投与信息:(20種類まで入力可能)
 抗菌薬名を表示される画面から選択/入力します。
 投与量を入力します。
 投与単位を「g」、「mg」から選択します。
 投与日数を入力します。
 投与方法をプルダウンから選択します。
 投与開始日および投与終了日を表示されるカレンダー画面からの選択、またはそこでの「取消」ボタンを押して YYYY/MM/DD、YYYYMMDD 形式での直接入力により入れます。

XVI. 詳細入力画面(基礎疾患に関するデータ)

病院情報の入力

検体番号 [123456]

ID [] カルテ番号 []

氏名 [] 性別 [] 生年月日 []

入院日 [] 退院日 [] 検体提出日 []

検査材料名 [] 診療科 [] 入院外来 [] 病棟 []

検体データ | 菌データ | 退院サマリデータ | 予備領域拡張 | 検査項目
 患者基本データ | 感染症データ | 抗菌薬データ | 基礎疾患に関するデータ | デバイスデータ

基礎疾患名1 [] []

基礎疾患名1ICD10 [] []

基礎疾患名2 [] []

基礎疾患名2ICD10 [] []

基礎疾患名3 [] []

基礎疾患名3ICD10 [] []

免疫抑制剤 [] 手術 []

ステロイド [] 手術部位 []

抗癌剤 [] Kコード []

放射線治療 [] 手術処置コード []

放射線治療部位 [] 透析 []

登録 [] 閉じる []

- ・「基礎疾患名1」:表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・「基礎疾患名1ICD10」:表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・「基礎疾患名2」:表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・「基礎疾患名2ICD10」:表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・「基礎疾患名3」:表示される画面から JANIS 疾病分類コードを選択/入力します。
- ・「基礎疾患名3ICD10」:表示される画面から ICD10 コードを選択/入力します。
- ・「免疫抑制剤」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「ステロイド」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「抗癌剤」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「放射線治療」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「放射線治療部位」:放射線治療が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- ・「手術」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。
- ・「手術部位」:手術が「あり」のときにプルダウンから選択します。
- ・「Kコード」:Kコードを入力します。
- ・「手術処置コード」:表示される画面から ICD9cm コードを選択/入力します。
- ・「透析」:「なし」、「あり」、「不明」から選択します。